

2008年上半期 [1月～6月] 不正アクセス届出状況

●独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:西垣 浩司)は、2008年上半期 [1月～6月]のコンピュータ不正アクセスの届出状況をまとめました。

2008年上半期の届出状況から、最近の傾向としては、

- ウェブアプリケーションの脆弱性を突く攻撃で侵入され、情報が盗まれたりデータが改ざんされたりすることが多い
- SSHで使用するポートへの攻撃で侵入され、外部サイト攻撃のための踏み台として悪用されることが多い

と言えます。以下のサイトを参考にコンピュータセキュリティ設定の徹底及び日常の運用管理によるセキュリティ対策を継続するよう心がけてください。

■ セキュア・プログラミング講座

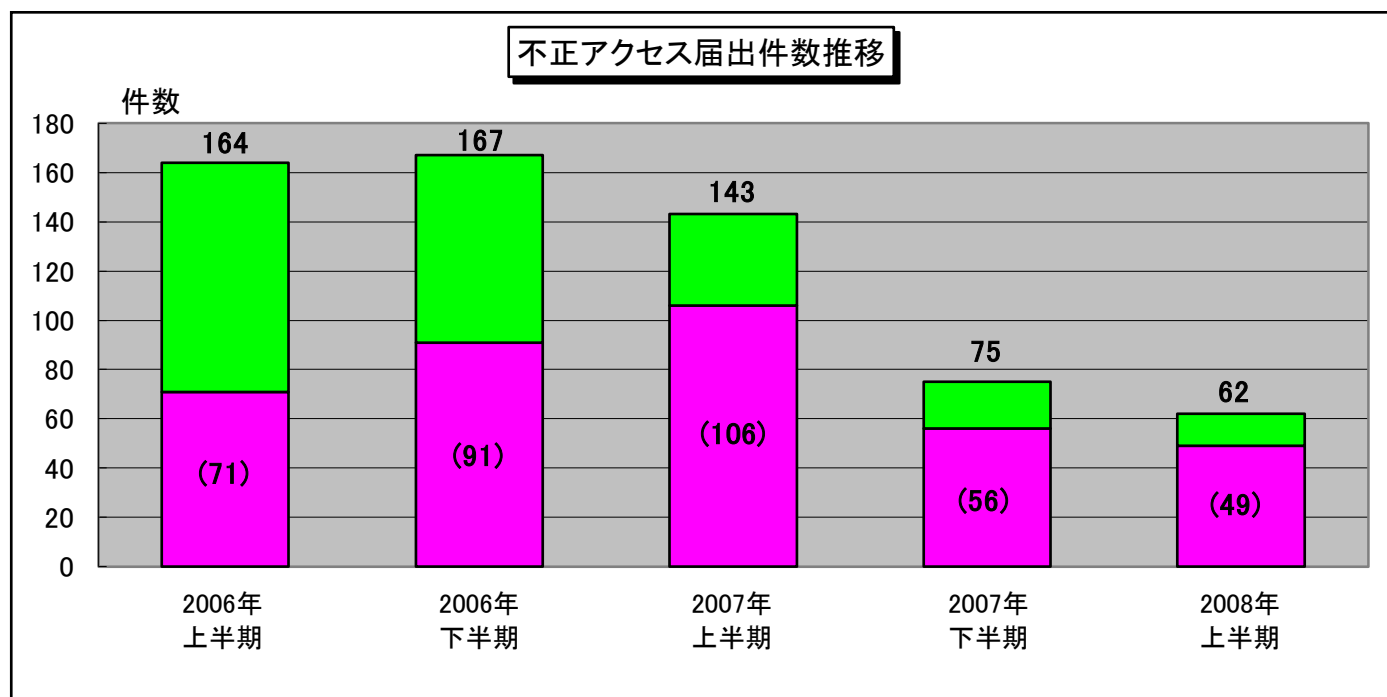
<http://www.ipa.go.jp/security/awareness/vendor/programmingv2/>

■ 情報セキュリティ対策実践情報 システム管理者向け

<http://www.ipa.go.jp/security/awareness/administrator/administrator.html>

1. 届出件数

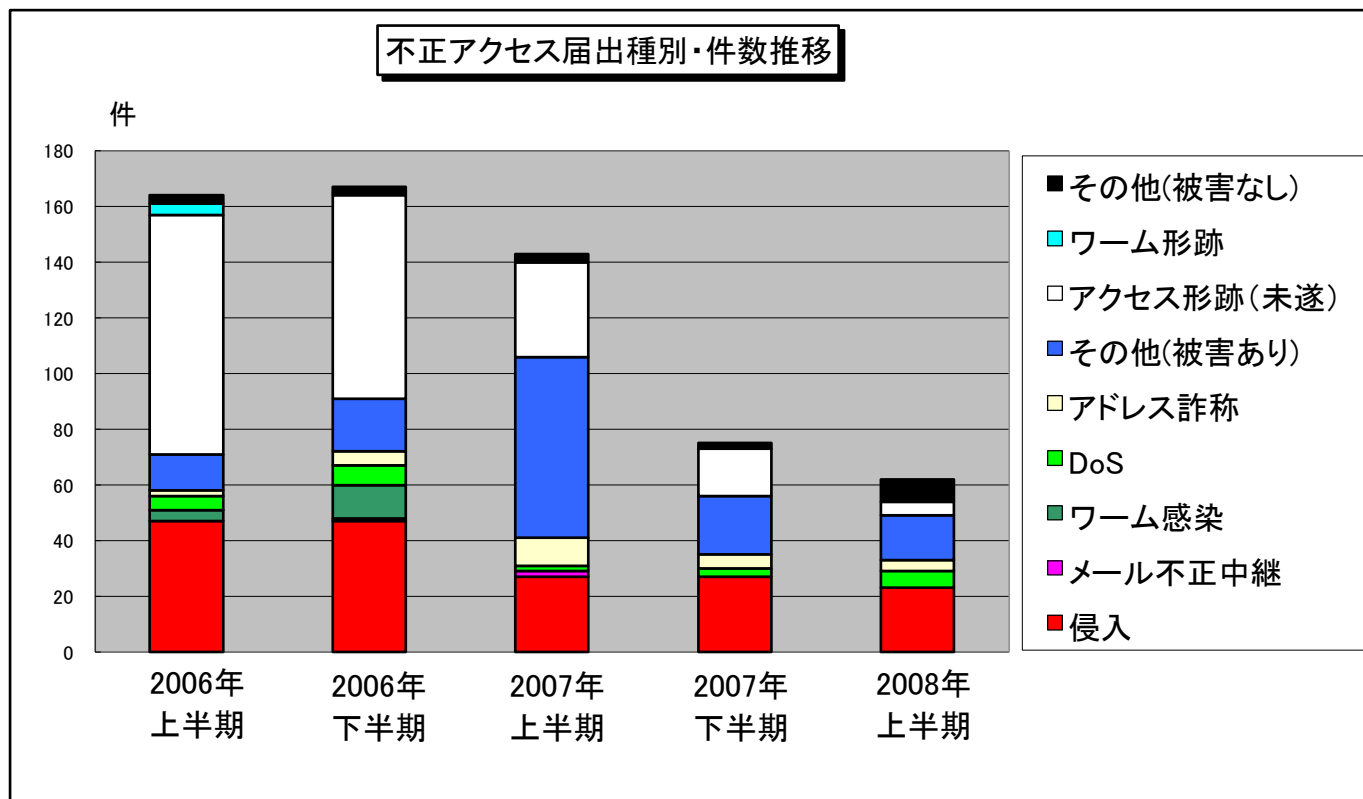
2008年上半期(1月～6月)の届出件数は合計62件となり、先期に比べ届出総数は約17%の減少、被害にあった件数の割合は約13%の減少となりました。



注) グラフ中の () 表示は、届出総数のうち被害があった件数を示しています。

2. 届出種別

IPAに届けられた62件のうち、実際に被害があった届出は49件(先期56件)と全体の約79%を占めました。実際に被害に遭った届出とは「侵入」「ワーム感染」「アドレス詐称」「メール不正中継」「DoS」「その他(被害あり)」の合計です。



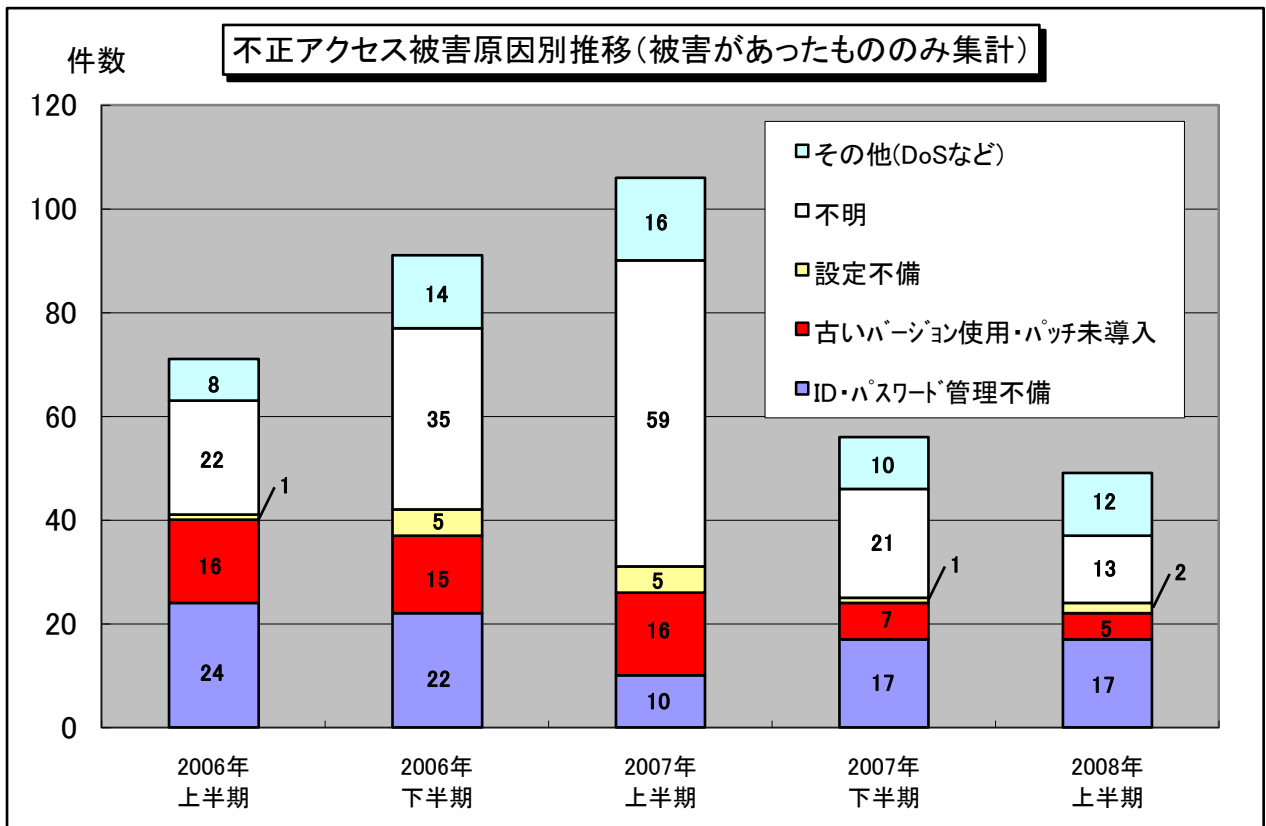
	2006年 上半期		2006年 下半期		2007年 上半期		2007年 下半期		2008年 上半期	
侵入	47	28.7%	47	28.1%	27	18.9%	27	36.0%	23	37.1%
メール不正中継	0	0.0%	1	0.6%	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
ワーム感染	4	2.4%	12	7.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
DoS	5	3.0%	7	4.2%	2	1.4%	3	4.0%	6	9.7%
アドレス詐称	2	1.2%	5	3.0%	10	7.0%	5	6.7%	4	6.5%
その他(被害あり)	13	7.9%	19	11.4%	65	45.5%	21	28.0%	16	25.8%
アクセス形跡(未遂)	86	52.4%	73	43.7%	34	23.8%	17	22.7%	5	8.1%
ワーム形跡	4	2.4%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(被害なし)	3	1.8%	2	1.2%	3	2.1%	2	2.7%	8	12.9%
合計(件)	164		167		143		75		62	

注) 網掛け部分は、**被害があった**届出種類を示しています。

割合の数字は小数点第二位を四捨五入していますので、合計が100%ちょうどにならない場合があります。

3. 被害原因

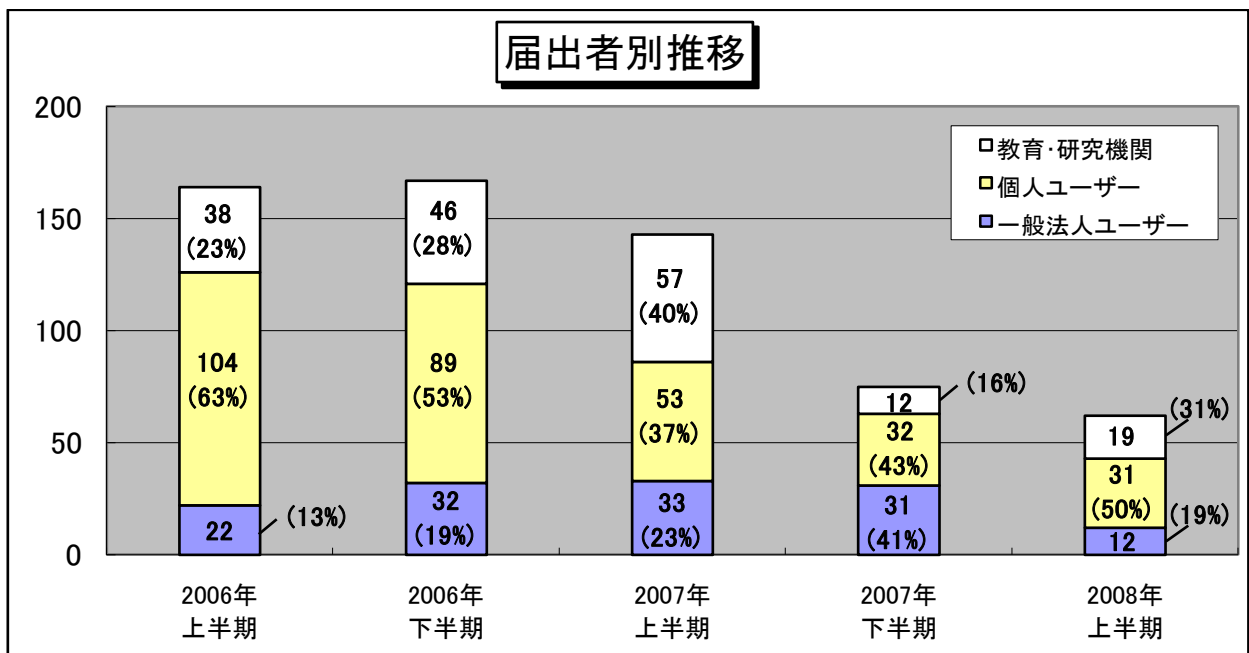
実際に被害があった届出（49件）のうち、原因の内訳はID・パスワード管理不備が17件、古いバージョン使用・パッチ未導入が5件、設定不備2件、などでした。



注) 被害原因が複数あった届出については、1件の届出につき主たる原因を代表として1件と集計しています。

4. 届出者の分類

届出者別の内訳は、**個人ユーザが31件（約50%）**と、大きい割合を占めています。



■お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
加賀谷/花村/望月

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp